

# サマーレビュー2017 調書

1 部局名 (課名)	こども家庭部 (幼児教育・保育課)
2 協議事項 (案件名)	国の新たな制度を活用した待機児童対策
3 背景・現状	<p>(1)「浜松市子ども・若者支援プラン(平成 27～31 年)」に基づき施設整備事業等を進め、平成 29 年 4 月には認定こども園等の総定員数が利用申請数を上回る状況にあるものの、待機児童解消には至っていない。</p> <p>(2)プラン上の終期の平成 31 年 4 月開設に向け、認定こども園等の施設整備及び地域型保育事業の募集を行っているが、募集数を確保することが厳しい状況となっている。</p> <p>(3)保育士確保が困難な状況が続いている。</p> <p>(4)本年 6 月に国から「子育て安心プラン」が示された。</p>
4 検討経過・課題	<p>(1)待機児童の 98%を占める 0～2 歳児への対応</p> <p>(2)幼稚園機能の有効活用</p> <p>(3)「子育て安心プラン」のメニューを最大限活用した財源確保策</p>
5-1 方向性の提案	<p>◆ハード事業とソフト事業を組み合わせた一体的な計画（パッケージ）により、待機児童ゼロを目指す。</p> <p>①受入体制と利用調整の強化について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受入体制 ⇒ 0～2 歳を受入れる小規模保育事業等を促進するとともに、新たな保育士確保対策を検討する。</li> <li>・利用調整 ⇒ 保育サービス相談員による丁寧な利用調整で、空きのある施設・定員部分を活用する。</li> </ul> <p>②幼稚園機能の有効活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私立幼稚園 ⇒ 国が新たに新設する 2 歳児受入制度を有効活用する。</li> <li>・市立幼稚園 ⇒ 待機児童解消に資する、実施可能な施策を検討する。</li> </ul> <p>◆「子育て安心プラン」のメニューを最大限活用した財源確保</p>

<p>5-2 論点</p> <p>方向性の決定 に向け議論 する事項</p>	<p>◆早期に待機児童を解消するための必要な施策の実施</p> <p>①受入体制と利用調整の強化について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 私立保育所等における受入体制の強化策</li> <li>・ 拡大又は継続する事業への投資や将来的な助成の方向性</li> </ul> <p>②幼稚園機能の有効活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 私立幼稚園での2歳児受入体制の導入</li> <li>・ 市立幼稚園の利活用</li> </ul>	
<p>6 結果</p>	<p>■提案どおり進める</p> <p><input type="checkbox"/>提案内容を一部見直して進める</p> <p><input type="checkbox"/>再度、調査研究等を行い検討</p> <p><input type="checkbox"/>その他</p>	<p>具体的内容</p> <p>➤ 区でなく全市的に動けるようにコーディネーターを充実させ、伴走型の支援とすること。また、「子育て安心プラン」のメニュー活用による効果を分析すること。</p>
<p>7 その他</p>		